

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 内部構造操作による微小管の機能進化
2. 研究代表者： 稲葉 央（鳥取大学 工学部 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、微小管の内部空間に分子を導入する独自に開発した技術を活用することで、微小管の機能を人工的に進化させる新手法の開拓を目指している。フェーズ1では、微小管を安定化させる独自の分子を開発し、その光制御を実現し、微小管の構造変換に必要な基礎的な手法を確立しつつある。多数の論文発表や招待講演など、十分な情報発信も行われており、目標に向けた順調な進捗が認められる。フェーズ2では、フェーズ1の成果を基にした、材料分野、生命科学分野への応用を目指した適切な研究計画が立てられており、それ以外にも多様な方向に研究展開を行う計画が立てられている。新たな領域を開拓することを目指した野心的な研究であり評価できるが、それと並行し、微小管の安定化・制御に関して基礎的な理解を深める方向の研究にも期待したい。

以上